

第9回 広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会まとめ（要点筆記）

《開催日》 平成23年1月25日（火） 午後1時30分から
《場 所》 豊岡市 東庁舎別館 2階 会議室
《出席者》 委 員：寺嶋均、本庄四郎、市川陽一、松永正博、
筑本壽晴、高木克年、山村紀久子、尾崎美津人、
梅林耕一、中田隆子、橘清治（敬称略）
組 合：組合職員 7名
合計18名

《内 容》 委員会次第

1. 開会
2. 協議事項
 - (1) 周辺整備計画及び啓発機能計画のまとめについて
 - (2) 施設の運営手法について
 - (3) 報告書の取りまとめについて
3. その他
 - (1) 次回の開催日について
4. 閉会

【質問・意見等】

(周辺整備計画及び啓発機能計画のまとめについて)

《啓発機能計画について》

- ・不用品情報交換コーナーについて、インターネットを利用してホームページ上で情報交換ができる方法を考えてはどうか。
- ・インターネットでは、利用者が限られる。子供や年配者は利用できないことがある。
- ・施設内で行うことにより、施設に来ていただき賑わいを持たせることも考えている。
- ・例えば、イベント的なことを行い、物を限定しても良いのではないか。
- ・イベント的なものを行うのであれば、移動手段（送迎車等）を考慮する必要がある。
- ・どういったことを行うかは、運営の手法によって異なり、運営者が考えれば良いのではないか。

《周辺整備計画について》

- ・紅葉の森では、四季を感じる事ができる樹木などを植栽するのか。
- ・植樹については、外来種を入れることは、自然にとっては良くないことである。
- ・従来の状態に間伐等を行うことにより、自然の美しさが出てくる。安っぽい造園的なことをすることはやめてほしい。
- ・自然を守るには手を入れないといけない。
- ・単なるリサイクルではなく、学習を伴ったリサイクルを考えないといけない。
- ・地元区にも利益があることを考えてあげないといけない。

(運営手法について)

- ・運営手法というテーマとなると、何が出来るか決まり運営者が決まらなるとまとめることができない。
- ・行政として問題がなければ、運営に協力して参画を希望する住民を極力活用できるような体制にする必要がある。
- ・森本区では、豊岡市所有の森林公園について、区に対して管理する団体の要請があり、平成18年から管理団体をつくった。学生の総合学習の一環としても活動し、年6回のイベントも開催している。一定の経費は市からいただき充実した活動を行っている。

(報告書について)

- ・本日は資料を持ち帰ってもらい、内容を確認していただく。
- ・修正した内容を2月中旬までに各委員に配布し、意見があれば2月末までに事務局に報告していただく。
- ・報告書は、最終的に取りまとめ完成したものを組合管理者に報告する。